

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、 または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	脆弱性骨盤骨折患者における起居動作自立日数と回復期リハビリテーション病棟退院時における歩行能力の関係		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2024年12月31日		
③ 対象患者	対象期間に当院で脆弱性骨盤骨折と診断され、保存療法を受けられた75歳以上の方で、聖マリアヘルスケアセンター回復期リハビリテーション病棟を経て退院されたの患者さん		
④ 対象期間	2018年4月1日～2022年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	整形外科		
⑦ 研究責任者	氏名	米村翔太	所属 リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、診断名、入院時の改定長谷川式簡易知能評価スケール点数、入院時・受傷1週間後における疼痛の有無、離床開始日数、在院日数（当院入院時から聖マリアヘルスケアセンター退院時まで）、起居動作自立までの日数、受傷前歩行形態（独歩、杖歩行、四輪歩行車、歩行器歩行の4分類）回復期リハビリテーション病棟退院時歩行形態、入院時・受傷1週間後におけるROM（関節可動域：両側股関節屈曲）、入院時・受傷1週間後におけるMMT（徒手筋力テスト：両側腸腰筋・大腿四頭筋）、Rommens分類		
⑨ 研究の概要	脆弱性骨盤骨折患者さんの起居動作自立までの日数と退院時歩行能力の関係を調査し、歩行能力の予後予測を規定する因子を検証し、理学療法の展開のための予後予測について検討します。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		

⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します	
⑭ 研究の資金源	なし	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 リハビリテーション室 米村翔太	
	電話	0942-35-3322